

上映会 「どうすればよかったか？」 シンポジウム どうできる未来にしたいですか？

日時：令和8年12月9日（水） 13時15分～16時30分

開場：12時45分 映画 13：20～15：01

シンポジウム 15：15～16：30

会場：静岡県男女共同参画センターあざれあ 6階大ホール

(静岡市駿河区馬淵1丁目17-1) 定員200名（無料）

（山形県立中央病院）（山形県立中央病院）（山形県立中央病院）（山形県立中央病院）（山形県立中央病院）

どう
すれば
よ
かつ
た
か
？



言いたくない 家族のこと

面見えがよく優秀な姉に統合失調症の症状が現れた
父と母は玄關に南京錠をかけ、彼女を閉じ込めた

原作：藤野知明 脚本：藤野知明 監督：藤野知明 監製：藤野知明 制作：藤野知明 2024年12月9日（水）上映 13時15分～16時30分 13時15分～16時30分 13時15分～16時30分

我が家の25年は、統合失調症の
対応の失敗例です（藤野知明監督）

(C) 2024動画工房ぞうしま

シンポジスト

夏苺 郁子 氏（やきつべの径診療所医師）

菅原 小夜子 氏（静岡県精神保健福祉士協会会長）

赤池 千明 氏（静岡県精神保健福祉会連合会理事長）

当事者の方（竹内氏 他1名）

コーディネーター

山末 英典（静岡県精神保健福祉協会会長

浜松医科大学教授）

注意 映画には親による南京錠を用いた自宅への軟禁、御本人の人生について家族の視点での解釈の場面等があり、当事者の立場の方々にとって、心理的苦痛を惹起する可能性も指摘されています。

上映後のシンポジウムでは、本映画を題材に様々な立場から、今後の方向性等について議論します。

参加申込先

主催：静岡県精神保健福祉協会

電話・FAX：054-202-1220

メール：sizuoka_seisin@yahoo.co.jp

共催：静岡県精神科病院協会・静岡県精神神経科診療所協会

後援：朝日新聞静岡総局、読売新聞静岡支局、静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社
テレビ静岡、毎日新聞静岡支局、NHK静岡放送、静岡朝日テレビ、静岡第一テレビ
FMHaro!、K-MIX（順不同）

心の健康フェア2026

(参加無料、事前申込制 先着順)

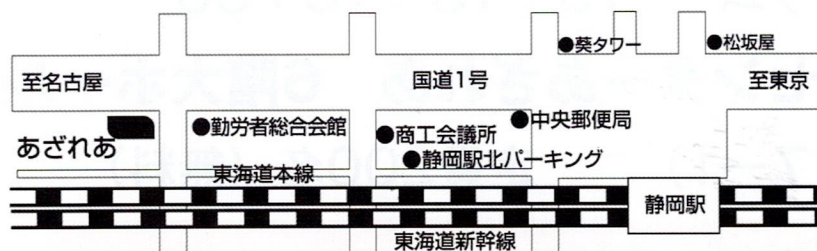
上映会「どうすればよかったか？」及びシンポジウム

12月9日(水) 13:15~16:30

会場：静岡県男女共同参画センターあざれあ 6階大ホール 定員 200名

チラシ表面の参加申込先へ、参加者全員の氏名、代表者電話番号を メール、FAX又は電話
(電話は月・水・金 9:00~16:00のみ対応) によりお申込ください。

受付通知はしませんので申込後、当日直接会場へお越しください。



《あざれあ》
静岡市駿河区馬淵1丁目17-1
JR静岡駅北口から西方向へ
徒歩10分程度
専用駐車場はありません

参加申込票

参加者氏名(全員)

読み仮名

代表者電話番号

第47回ハートフルアート展作品集 電子版公開

○静岡県精神保健福祉協会ホームページ上に公開 R8年11月2日(月)から

URL:<http://www.mental-shizuoka.jp>

ホームページはこちらから



静岡県が運営するメタバース空間に作品が展示され、
パソコンやスマートフォンで見ることができます。

R8年12月限定

メタバース空間へはこちらから



○12月9日(水) 上映会・シンポジウム会場で、休憩時間に投影します。